

# 公立野辺地病院

「令和4年度第1四半期収支状況及び  
取り組み概要」

■ 令和4年度第1四半期の収支状況

□ 令和4年度第1四半期の取り組み

□ 今後の取り組み

# 令和4年度第1四半期の収支状況

## 1. 経常収支

(単位:千円)

区分	4月	5月	6月見込み	参考 期末除く	第1四半期 計
1 病院事業収益	343,164	216,146	215,729	215,729	775,039
※医業収入	189,027	207,607	207,838		604,472
(1) 医業収益	256,199	205,020	204,645		665,864
入院収益	126,684	143,072	136,395		406,151
外来収益	53,712	54,853	58,224		166,789
その他医業収益	75,803	7,095	10,026		92,924
(2) 医業外収益	82,802	8,539	7,891		99,232
他会計補助金・負担金	69,761	0	0		69,761
補助金	0	0	0		0
その他	13,041	8,539	7,891		29,471
(3) 訪問看護ステーション収益	2,643	1,121	1,814		5,578
(4) 居宅介護支援事業収益	1,520	1,466	1,379		4,365
(5) 看護小規模多機能型居宅介護事業収益	0	0	0		0
(6) 特別利益	0	0	0		0
2 病院事業費用	210,657	208,862	261,095	207,566	680,614
(1) 医業費用	207,503	205,791	255,881	204,239	669,175
(2) 医業外費用	4	2	2		8
(3) 訪問看護ステーション費用	2,083	2,029	3,531	2,168	7,643
(4) 居宅介護支援事業所費用	1,067	1,040	1,681	1,157	3,788
(5) 看護小規模多機能型居宅介護事業費用	0	0	0		0
(6) 特別損失	0	0	0		0
損益	132,507	7,284	△ 45,366	8,163	<b>94,425</b>

R4 予算額	執行率
3,128,921	24.8%
2,410,808	25.1%
2,656,195	25.1%
1,597,359	25.4%
692,550	24.1%
366,286	25.4%
396,782	25.0%
232,475	30.0%
47,324	0.0%
116,983	25.2%
21,805	25.6%
16,581	26.3%
37,557	0.0%
1	0.0%
3,055,126	22.3%
2,849,959	23.5%
117,269	0.0%
33,348	22.9%
16,992	22.3%
37,557	0.0%
1	0.0%
<b>73,795</b>	

### 経常収支比較

■ 病院事業収益  
■ 病院事業費用



経常収支  
**経常黒字約0.9億円**

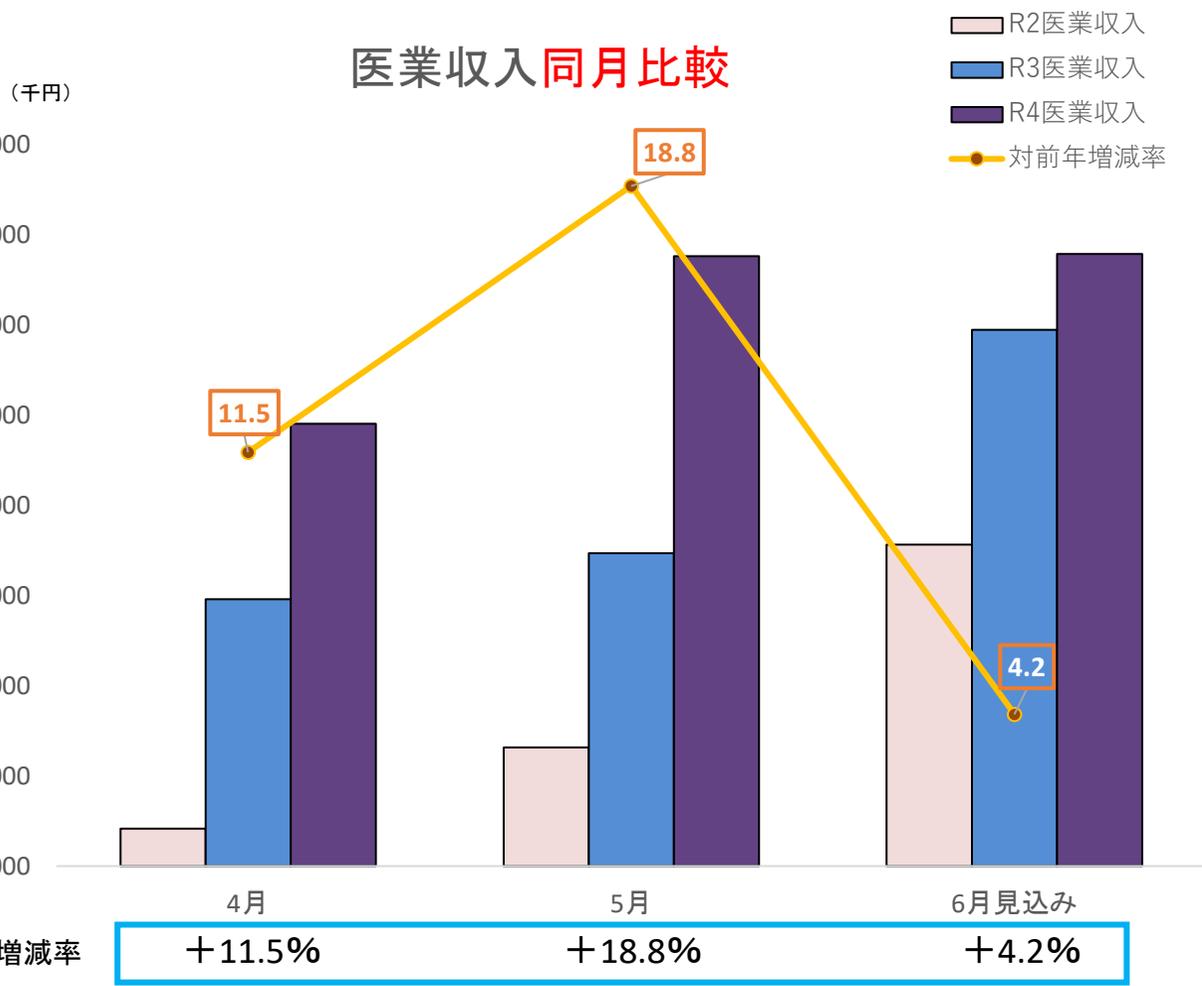
R4年度も引続き退職手当組合負担金の納付 月額約760万円

参考  
令和3年度第1四半期 57,623千円

# 令和4年度第1四半期の収支状況

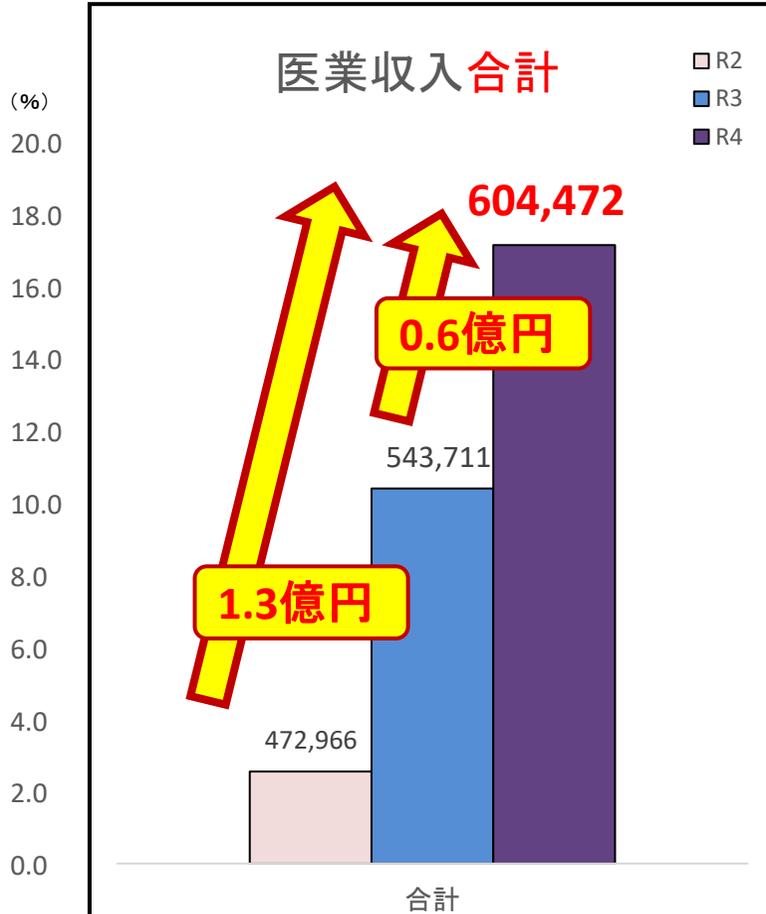
## 2. 医業収入

### 医業収入同月比較



4月～6月全ての月で前年度を上回る(見込み)

### 医業収入合計



前年度比較  
約0.6億円の増収  
(プラス 11.2%)

□令和4年度第1四半期の収支状況

■令和4年度第1四半期の取り組み

□今後の取り組み

# 令和4年度第1四半期の取り組み

1. 施設基準の届出
2. 医療従事者の確保事業
3. 医療の質向上
4. 患者サービスの向上
5. 新病院建設基本構想・基本計画策定委員会

# 1. 施設基準の届出

## ①新規届出項目

・急性期看護補助体制加算1(看護補助体制充実加算)	2022年4月1日 算定開始
・排尿自立支援加算	2022年4月1日 算定開始
・二次性骨折予防継続管理料1	2022年4月1日 算定開始
・二次性骨折予防継続管理料2	2022年4月1日 算定開始
・二次性骨折予防継続管理料3	2022年4月1日 算定開始
・摂食嚥下機能回復体制加算2	2022年4月1日 算定開始
・地域包括ケア病棟入院料(看護補助体制充実加算)	2022年6月1日 算定開始
・急性期看護補助体制加算1(夜間100:1補助体制加算)	2022年7月1日 算定開始
・病棟薬剤業務実施加算1	2022年10月1日 算定開始予定
・看護職員の処遇改善に係る診療項目	2022年10月1日 算定開始予定

## ②区分変更項目

・医師事務作業補助体制加算1(20:1)	2022年4月1日 算定開始
・連携強化加算	2022年4月1日 算定開始
・サーベイランス強化加算	2022年4月1日 算定開始
・外来腫瘍化学療法診療料1	2022年4月1日 算定開始
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	2022年5月1日 算定開始
・廃用症候群リハビリテーション料(Ⅰ)	2022年5月1日 算定開始
・外来腫瘍化学療法診療料(連携充実加算)	2022年10月1日 区分変更予定

## 2. 医療従事者の確保事業

### 1. 修学資金制度の拡充

現行

・医師	月額 200,000円	(実績 3名 現在貸与中 0名)
・薬剤師	月額 100,000円	(実績 2名 現在貸与中 2名)
・看護師	月額 100,000円	(実績 15名 現在貸与中 5名)



師(士)のつく全職種に拡大

改正後

・医師	月額 200,000円	現状維持
・薬剤師	月額 100,000円	
・看護師	月額 100,000円	

・歯科医師	月額 150,000円	追加
・診療放射線技師	月額 80,000円	
・臨床工学技士	月額 80,000円	
・臨床検査技師	月額 80,000円	
・作業療法士	月額 80,000円	
・理学療法士	月額 80,000円	
・言語聴覚士	月額 80,000円	
・管理栄養士	月額 80,000円	
・歯科衛生士	月額 80,000円	
・介護福祉士	月額 50,000円	

※条例改正の議案提出済

## 2. 医療従事者の確保事業

### 2. 看護師確保対策の検討

#### 背景

- ①勤務している看護師の平均年齢の高齢化（R4.5現在：看護師数94名（**平均年齢47歳**））
- ②令和4年度から5年の間に**16名の定年退職者**
- ③野辺地町に居住する場所が少ない（R3.11、R4.2に採用内定者が**居宅を確保できずに採用を辞退した実績あり**）

#### 今後の採用予定

- ・令和5年度採用看護師共同試験の希望者 **8名**（うち修学資金貸与者 **2名**）
- （参考）  
修学資金貸与者 **5名**（うち令和4年度卒業者 **3名**）

**看護師の確保・定住  
対策が急務**



## 2. 医療従事者の確保事業

### 3. 総合診療専門研修プログラム基幹施設の申請

- ・平成30年より総合的な診療能力を有する基本診療の専門医として新たに『**総合診療専門医**』制度が創設された
- ・当院を基幹施設とし、卒後3年目から当院を含め連携施設を3年間、ローテートし、専門研修（後期研修）を行う
- ・研修期間中は当院**常勤医師として勤務**することとなり**医師確保**へとつながる

【ローテーション例】

後期研修	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	総合診療専門研修Ⅰ 五戸総合病院 / 博仁会 志村大宮病院（茨城） 北海道家庭医療学センター（8施設）						小児科・救急科 八戸市立市民病院 / 十和田市立中央病院					
2年目	内科 八戸市立市民病院 / 洛和会 丸太町病院（京都）											
3年目	総合診療専門研修Ⅱ（その他領域 外科・整形外科・歯科口腔外科） <b>公立野辺地病院にて勤務</b>											

※「総合診療専門研修Ⅰ」、「総合診療専門研修Ⅱ」、「内科」、「小児科」、「救急科」の研修順序は入れ替える場合あり  
※専攻医の希望に応じ、その他領域別研修（外科、整形外科、歯科口腔外科）を選択することができる

# 2. 医療従事者の確保事業

## 研修施設群の構築

内科



- ・洛和会 丸太町病院  
京都市中心部に位置し、救急搬送において中心的な役割を担っている急性期医療・地域密着型の病院である
- ・八戸市立市民病院



総合診療専門研修Ⅱ



公立野辺地病院  
(基幹施設)

総合診療専門研修Ⅰ

- ・博仁会 志村大宮病院  
茨城県北西部に位置しリハビリテーション、緩和ケア、認知症ケア中心にかかりつけ医機能と専門医療を提供



- ・五戸総合病院  
三戸郡及び八戸市西部地域の救急医療や在宅医療など当該地方の基幹病院としての役割を担っている

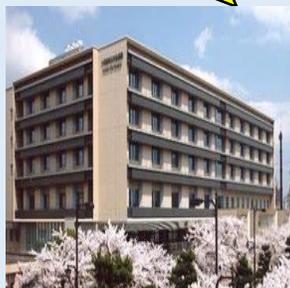


- ・北海道家庭医療学センター  
北海道を中心に質の高い家庭医療を提供している(北海道内8か所の診療所と連携)

救急科・小児科

- ・八戸市立市民病院  
高度・急性期医療を中心に24時間体制  
高度救命救急センターを擁する県南地域の中核を担う病院

連携



- ・十和田市立中央病院  
上十三地域医療圏の中心に位置する中核病院、救急科においては重度外傷への医療も提供している

## 2. 医療従事者の確保事業

### 4. 事務正職員の採用区分の拡大

- ・令和2年4月 診療情報管理士 採用
- ・令和3年4月 医療事務手(診療報酬請求事務) 採用



今後

採用区分の拡大(有資格者、経験者)予定

- ・医療事務手
- ・経営に知識のあるもの(MBA等)
- ・システムエンジニア 等

**即戦力**となる人材を積極的に採用



### 3. 医療の質向上

#### ○女性医師による婦人科外来

現行

毎週 水・木 曜日午前**のみ**の診療(非常勤医師:男性)



今後

7月から、**毎週月曜日午前 原則女性医師**(非常勤)による診療開始

※男性医師の場合もあり

女性特有の病気の悩みについて  
安心して来院することができる



# 4. 患者サービスの向上

## ○ATMの設置

多数の患者様からご要望が寄せられておりました、ATMの設置についてご要望にお応えし、患者様の利便性向上を図る為**7月より売店前**にATMを設置しました。



場所は  
「正面玄関入って右手、  
売店前」となります

病院の営業時間なら  
いつでもご利用可能！  
(営業日の8:15~17:00)



# 5. 新病院建設基本構想・基本計画策定委員会

## 1. 委員会名簿

### 委員

団体名	役職	委員氏名
青森県	健康福祉部 医療薬務課 課長	泉谷 和彦
弘前大学大学院 医学研究科	消化器外科学・小児外科学講座 教授	袴田 健一
八戸市立市民病院	病院事業管理者	三浦 一章
兵庫県立大学大学院 経営学研究科	特任教授 (医療マネジメント)	小山 秀夫
日本病院団体協議会	議長	小山 信彌
獨協医科大学大学院 医学研究科	麻酔・疼痛学講座 教授	山口 重樹

### 顧問

団体名	役職	顧問氏名
野辺地町	副町長	江刺家 和夫
横浜町	町長	石橋 勝大
六ヶ所村	村長	戸田 衛

### 事務局

団体名	役職	事務局氏名
北部上北広域事務組合 公立野辺地病院	病院事業管理者	一戸 和成
	院長	小堀 宏康
	総看護長	ニッ森 ひとみ
	事務長	上原子 謙
	病院再建推進室長	飯田 恵司

# 5. 新病院建設基本構想・基本計画策定委員会

## 2. 委員会開催予定日

第1回 令和4年 7月 5日 (火)

建替えに向けて ①

第2回 令和4年 8月22日 (月)

建替えに向けて ②

第3回 令和4年10月 or 11月

とりまとめに向けて

第4回 令和4年12月 or 令和5年 1月

とりまとめ

# 5. 新病院建設基本構想・基本計画策定委員会

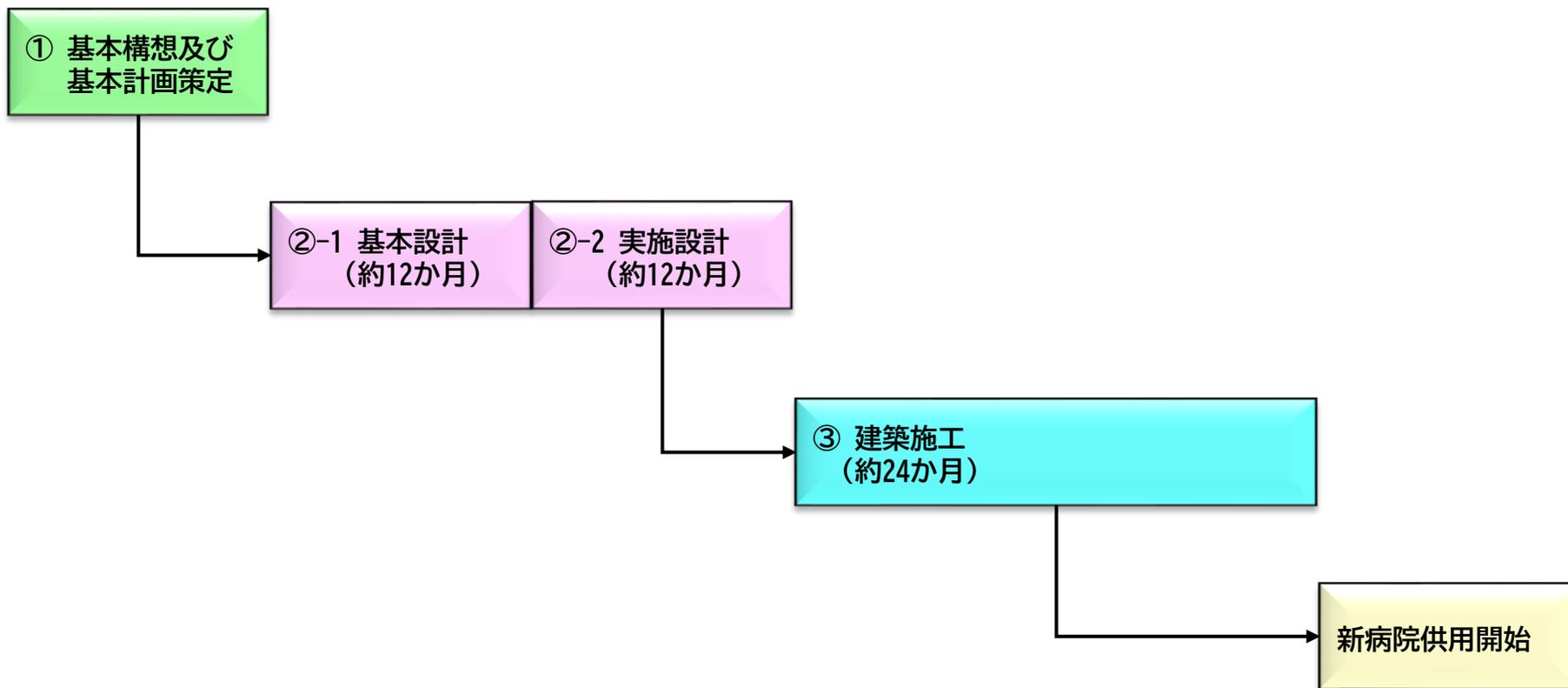
## 3. 第1回委員会 論点の討議結果

1. 「**病床規模**」は、現在の病床数を基本とするべきか  
(現在の病床数は151床、病床利用率：令和3年度80.5%、令和4年4～6月86.6%)
2. 高齢化を見据え、公立野辺地病院に「**必要となる診療科**」は何か  
(総合診療科など)
3. 患者動向から、「**機能の強化を図るべき診療領域**」は何か  
(循環器系診療科(循環器内科・脳神経外科)など)
4. 3.の「**機能の強化を図る診療領域**」に対応して、「**整備すべき機能**」は何か  
(麻酔科・リハビリテーション科など)
5. 在宅医療・介護系事業で「**サービスを強化するもの**」は何か  
(有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅、訪問系、通所系介護事業など)
6. 健診受診率が低い状況の中で、「**具体的に取組むべきこと**」は何か  
(健診センターの拡充など)
7. へき地医療の継続・拡大への「**具体的な方向性**」としては何をするか  
(へき地医療のほかに、遠隔診療やオンライン診療(拠点)の拡充など)
8. その他(経営形態・建設場所等)  
(「患者アクセスを考えたときの理想の場所は交通の結節点」、  
「介護・福祉事業を実施するときに、経営形態として、地方公営企業法の全部適用より自由度高く」など)

# 5. 新病院建設基本構想・基本計画策定委員会

## 4. 建替えスケジュール(案)

令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------



□令和4年度第1四半期の収支状況

□令和4年度第1四半期の取り組み

■今後の取り組み

# 今後の取り組み

- ①非常勤医師の招聘の継続
- ②病棟再編(予定) ※看護師を必要数確保が条件
- ③検診受託の企業の拡大(現在取組中)
- ④へき地診療事業の拡大(現在取組中)**
- ⑤敷地内薬局の設置(年度内供用開始予定)
- ⑥看護小規模多機能型居宅介護事業の開始  
(年度内供用開始予定)
- ⑦新病院建設の検討委員会の開催(全4回程度)**



北部上北広域事務組合

公立野辺地病院

PUBLIC NOHEJI HOSPITAL